

2017年度日本語教育学会春季大会〔会場：早稲田大学〕では、一般公開の特別プログラムとして「人をつなぎ社会をつくるー日本語教育の現代的な可能性を拓く：人工知能との対話」を題に、パネルディスカッションを企画しております。それに関連して、学会員の皆様には、「人工知能（AI）を使った日本語教育の可能性」という観点でのアイデアを募集いたします。詳細は、以下のご案内をご覧ください。

～～＊～～＊～～＊～～

アイデア
募集中！

人工知能・人型ロボットを使った日本語教育
「こんなことできたらいいな」
アイデアが採用された方は、春季大会参加費無料！

2017年5月、早稲田大学で行われる春季大会の特別プログラムのテーマ。それは「人工知能（AI）を使った日本語教育の可能性」です。

人工知能の進化は、人間の教師に取って代わる可能性があるという点で、私たち日本語教師にとって大きな脅威です。しかし、日本語を学ぶ学習者も、日本語を教える教師も、人間です。人間にしかできないことがきっとあるはず。人工知能をいたずらに忌避するのではなく、人間の教師のパフォーマンスを高めるために、人工知能と連携しつつ、質の高い日本語教育を学習者に提供できるとしたら、学習者にとっても教師にとっても意味があると思います。

そこで、人工知能や、人工知能を搭載した人型ロボットの技術が将来さらに向上したとき、「こんなことができたらいいな」というアイデアを募集します。最も魅力的なアイデアは、特別プログラムのなかで伊東会長から紹介させていただき、紹介された方には「春季大会参加費無料」という特典をおつけします。

会員のみならず、人工知能の可能性を切り口に日本語教育の未来予想図と一緒に描いてみませんか。現在の技術での実現可能性は問いません。ぜひふるってご応募をお願いします。

【応募条件等の留意点】

- ・お一人での応募も、複数名での応募もともに歓迎します。ただし、複数名での応募の場合、代表者は会員であること、また、春季大会参加費無料の特典は代表者のみとなることを、あらかじめご了承ください。なお、お一人何件でも応募できます。
- ・応募内容について大会委員会内の特別プログラム企画ワーキンググループで拝見し、最も魅力的なものを春季大会で紹介させていただきます。その結果は、2017年2月末日までにお知らせいたします。

【応募方法】

[応募用紙](#)（←こちらをクリック）に必要事項をご記入のうえ、**2017年1月31日（火）**までに下記までEメールで送信してください。

【応募先および本件に関する問い合わせ】

アイデア募集受付係（2017spring-sp-idea@nkg.or.jp）までお送りください。受領された場合は、折り返し返信メールが届きます。

2017 年度日本語教育学会春季大会「特別プログラム」に関するアイデア募集

応募用紙(例)

<p>1. 応募者全員の ご氏名(日本語かローマ字表記)、 フリガナ(日本語の発音) ご所属</p>	<p>日本花子(ニホンハナコ) ●●大学××センター</p>
<p>2. 代表者のご氏名、会員番号</p>	<p>日本花子(ニホンハナコ) 123456</p>
<p>3. タイトルまたはテーマ (30字以内)</p>	<p>海外の遠隔地に派遣可能な対話可能な人型ロボットを開発する</p>
<p>4. 概要(400字以内) (必要に応じて、図表やイラスト を用いてもよい)</p> <p>※実現可能性などについては、 選考過程で AI の専門家の方に コメントをいただく予定です。</p>	<p>海外には日本語学習者数の少ない地域があり、現状ではそうした地域にネイティブの日本語教師を派遣することは困難である。そこで、海外のそうした遠隔地に日本語で会話ができる人型ロボットを送り、現地の日本語教師が会話の授業を行うさいに、学習者の会話のパートナーになってもらう。</p> <p>また、クラウド対応にしておき、日本国内の日本語母語話者パートナーが話したり動いたりすると、それに連動して現地の人型ロボットが同じように話したり動いたりする同期のシステムを開発することで、空間を越えて、ネイティブスピーカーとコミュニケーションできる環境を整備する。</p>